



中国文化について

平成 28 年 11 月 27 日 (日)、豊富公民館で国際理解出前講座の講師の侯継敬さんが「中国文化について」のお話をしました。

普段は、市内の高校などで中国語を教えていらっしゃるのので、講座は内容豊富でとても充実したものになりました。

お箸の置き方の向きが違うこと、お茶碗を持たないことなど食事のマナーの違いや入浴など身近な文化の違いには、参加者のみなさんも興味津々でした。



また、侯さんは切り絵や結婚式にも着た民族衣装、正月用の飾りなど、実際に見たり手で触れたりできるものをたくさん持ってきてくださいました。特に遊びの紹介ではお手玉やゴム跳びなど日本に似ているものもありましたが、ゴムが自転車のチューブだったり、おはじきがお手製で羊の骨に色を塗ったものだったりと日本と違っているところには、驚かれたようでした。



足で蹴って
遊ぶ羽根



細かく、繊細な
切り絵



目の体操。中国では学校で習うそうです。



動物の骨に色を塗ったもの。
お手玉のように遊びます